

# 「きこえ」の検査を受けましょう

生まれてくる赤ちゃんの健やかな成長はみんなの願いです。  
「きこえにくさ」は目に見えないので気づかれにくいですが、  
 1,000人に1～2人の赤ちゃんが生まれつきのきこえにくさ  
 があると言われています。

早く発見して、適切な援助をしてあげることが赤ちゃんの言葉と心の成長にとっても大切です。



## なぜこの検査をするのですか？

この検査は、お子さんのきこえについてさらに詳しい検査が必要かどうかを調べます。

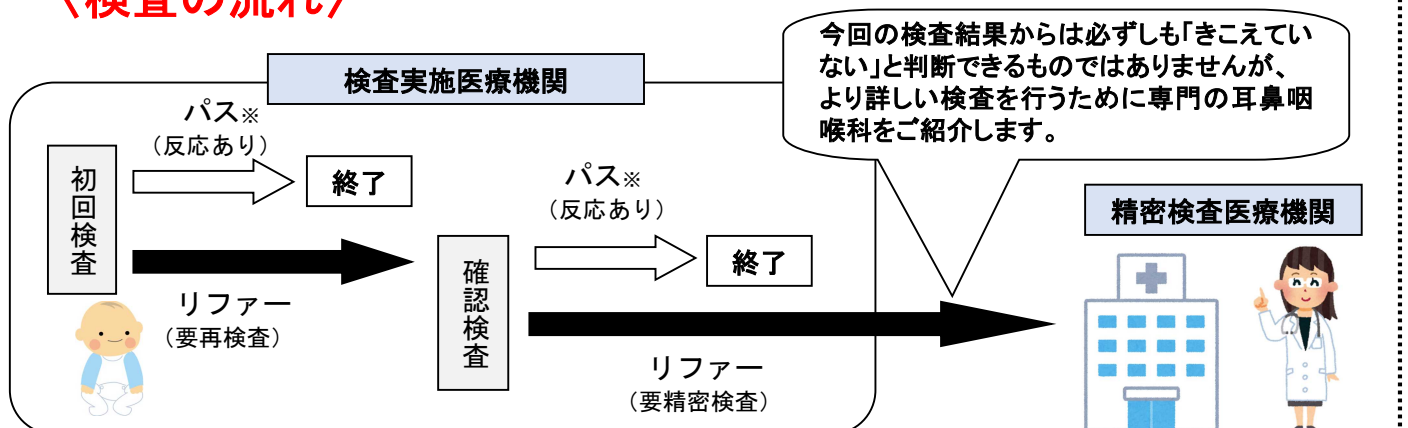
もしも、きこえにくい可能性がある、という検査結果が出た場合は、専門の先生に診てもらい、必要に応じた適切な対応を行うことで、きこえにくさからくる言葉や心の成長への影響を最小限に抑えることができるといわれています。

## どんな検査ですか？

生まれて間もない時期に器械をつかって「ささやき声」程度の音をきかせて反応をみる検査です。赤ちゃんが寝ている間に行われ、痛みは一切ありません。通常かかる時間は5分から10分です。

退院後に検査を希望された場合は、検査可能な耳鼻咽喉科にて検査を受けていただきますが、新生児期を過ぎているため検査方法が異なり時間がかかります。また、薬による鎮静が必要な場合があります。そのため、検査はできるだけ退院前に、出産した病院で受けてください。

## ＜検査の流れ＞



### ※パス

現時点では、「きこえ」に問題はありません。

ただし、今後の成長過程で中耳炎やおたふく風邪等によるきこえの問題が起きる可能性がありますので、ご家庭でお子さんのきこえやことばの発達を見守っていきましょう。

